

令和5年度 権利擁護に関する研修会報告

1. 障がい者虐待防止について

日 時 令和5年11月10日（金）午前10時00分～午前11時30分

講 師 川島 成太 センター長（名西郡障がい者基幹相談支援センター）

参加者 29名（鳴門市内の障がい福祉サービス事業所職員）

〔研修内容報告〕

福祉専門職としての基本姿勢と権利擁護をテーマに、施設管理者としての経験もあり、現在も実際に障がい支援を行う立場から、実情を交えたお話をいただきました。「虐待ではないが不適切な支援を行っていないか」という視点からも自己点検を行い、利用者が満足するサービスを目指すための接遇のポイント等について学ぶことができました。

参加者からは、「日々の業務で意識が薄れてしまうことがあるが、研修を受けて改めて認識を強められた」「グレーゾーンや当人も気付いていないことはないか、話し合いたいと思う」といった声をいただきました。

2. 意思決定支援について

日 時 令和6年1月10日（水）午前10時00分～午前11時30分

講 師 白山 靖彦 教授（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

参加者 50名（鳴門市内の高齢者・障がい者を支援する方）

〔研修内容報告〕

専門職における意思決定支援をテーマに、意思決定のプロセスや無意識の思い込み等についてお話ししていただき、情報を正しく伝えられる専門性を獲得することが重要であると学ぶことができました。また医療における意思決定として、医療同意が必要な際の対応方法についても具体的な説明をしていただきました。

参加者からは、「意思決定支援にあたっての心の寄せ方、聞き取りの方法などを再確認できた」「本人の状態を理解して、最善の判断ができるように心がけたい」といった声をいただきました。

1. 障がい者虐待防止について



2. 意思決定支援について

